

金沢市少年サッカーリーグ2023 大会要項

1. 目的

日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、日頃からの練習の成果を發揮させる機会を提供することにより、選手全員のサッカー技術を向上させると同時に、勝利という結果よりも、将来に渡ってサッカーを続けていくための技術や精神を選手全員が身に着けることを目的とする。

また、仲間の大切さ、協力しあう心を養い、サッカーをプレーできる環境に感謝する心を育くみ、その中からたくましく成長していくことができるよう、指導者・父兄など周囲の大人がサポートしていく環境を構築していくことを目指す。

2. 主催・運営

金沢市少年サッカー育成協議会（以下「本育成協議会」）

3. 開催期間・会場

令和5年（2023年）4月～9月 スポーツ交流広場、まめだグラウンド

4. 参加資格

- (1) 「参加チーム」は、「本育成協議会」に加盟している（準加盟を含む）チーム（以下「加盟チーム」）であること。
- (2) 「参加チーム」は、原則、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (3) 「参加チーム」は、スムーズな大会運営に協力すること。
- (4) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- (5) 「参加選手」は、原則として、（公財）日本サッカー協会（以下「JFA」）が発行した選手証を有するか、電子登録証（写真が登録されたもの）にて確認できる者であること。
- L8** (6) 1チームの選手の人数は8人以上とする。上限は設けないが過剰に多い人数は控えること。
- (7) 引率指導者は、「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1人以上がJFA公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること。引率指導者の登録人数は制限しないが、エントリー表に記載がない場合は、ベンチ入りを認めない。
- (8) 「参加チーム」は、4級以上の審判員を2人以上帯同し、責任ある審判を行うこと。
- (9) 「参加チーム」は、チームの責任において傷害保険（スポーツ安全傷害保険）に加入すること。
- (10) 「参加チーム」は、異色のユニフォーム（正・副）及びピブスを2色用意すること。
- LY** (11) 3部制（U-12、U-11、U-10）で実施する。U-12は最上級生中心のチームとする。但し、6年生がいない場合でも、JFA全日本U-12サッカー選手権大会石川県大会に出場したいチームは、U-12にエントリーすること。
U-11及びU-10にて、人数不足により単一でチームを構成できない場合に限り、「加盟チーム」との「合同チーム」でエントリー出来るものとする。
U-11には5年生が1人以上、U-10には4年生が1人以上いなければならない。当該学年より下の学年の選手をエントリーする場合において、「下の学年の選手のみで試合をすること」を目的とするエントリーは認めない。
- (12) U-12において、6年生が9人以上または17人以上いる場合、それぞれ2チーム、3チームでの複数エントリーを次の要件を全て満たす場合に限り認める。
 - ① それぞれのチームに6年生がいること。
 - ② 引率指導者の同じカテゴリーでの兼務、入替は認めない。
 - ③ 審判員の同じカテゴリーでの兼務は認めない。入替は認めるが、同日の入替は認めない。
- (13) U-11、U-10において、それぞれ5年生、4年生が16人以上で2チーム、24人以上で3チームの複数エントリーを次の要件を全て満たす場合に限り認める。
 - ① それぞれのチームに当該学年の選手がいること。
 - ② 引率指導者及び審判員の同じカテゴリーでの兼務は認めない。入替は認めるが、同日の入替は認めない。
- LY** (14) 同一選手の「異なるカテゴリーのエントリー」は認めるが、次の事項を厳守すること。
 - ① 異なるカテゴリーにエントリーしている選手の双方の試合時間が重なり、どちらかの人数が揃わ

ない場合、それを理由に延期はしない。（棄権となるので注意する）

②複数エントリー（同じカテゴリー）でのエントリーは認めない。

③特定の選手に負荷をかけ過ぎないように、またその選手の出場により他の選手の出場時間が著しく少なくなることをしないよう、選手起用に関しては細心の注意を払うこと。

(15)エントリーしている選手が、傷病など特別な理由がある場合を除き、1日の試合の中で必ず出場させること。

(16)参加確認用紙提出後において、参加チーム数の変更は認めない。

(17)エントリー表の提出後、内容に変更が生じた場合、その都度修正し、メンバー表として、メンバーチェック時に提出する。選手番号の変更も可とするが、同日の変更は認めない。

LY (18)開催期間中の移籍は原則自由とする。複数エントリーでのチーム間の移動も自由とするが、同日の移動は認めない。

(19)転校により市外・県外チームから移籍してきた選手、及び新規登録による選手の追加は認める。追加したエントリー表をメンバー表として、メンバーチェック時に提出すること。

5. 大会形式

(1) 8人制サッカーとし、開催日数、参加チーム数、会場確保の状況により、リーグ構成を決定する。また、前期リーグ、後期リーグの2回戦制を原則とする。

(2) 本大会における競技規則は、実施年度のJFA「サッカー競技規則」及び「8人制サッカー競技規則」を適用する。

LY (3) 試合開始時において、選手が6人に満たない場合、棄権チームとみなし、不戦敗とする。スコアは、3-0（前半3-0、後半0-0）で相手チームの不戦勝とする。

(4) 各コートのベンチ位置及び大会プログラム左側チームのベンチ位置は、別表①のとおりとする。

(5) 試合日の第1試合開始までのタイムテーブルは、別表②のとおりとする。

(6) 大雨、落雷などの特別の場合を除き、雨天でも試合を決行する。中断、中断後の再開、中止等の判断は、大会本部にて決定する。

(7) U-12に参加するチーム（準加盟チームを除く）は、本年度のJFA全日本U-12サッカー選手権大会石川県大会の参加資格を得る。後期リーグ終了時にて、成績が上位となったチームは、原則として同大会のシード権が与えられる予定であるが、詳細については石川県少年サッカー連盟が決定した内容とする。

6. メンバーチェック

(1) 試合を行うに際し、メンバーチェックを実施する。

(2) メンバーチェックを行う時間は、その日の第1試合は試合開始の30分前、第2試合以降は前の試合の開始予定時刻とする。試合の進行が予定どおりではない場合、大会本部に確認すること。

(3) 新型コロナウイルス感染予防のため、引率指導者1人が、正副ユニフォーム、ビブス及びメンバー表を持参し、大会本部へ集合すること。引率指導者は、事前に、爪の長さ、スネ当て・キャプテンマークの着用など、責任を持って確認し、試合に臨むこと。特にアンダーを着用する場合、色の不統一が無いよう注意すること。アンダーの色に関しては、9項(9)、(10)のとおりとするので、遵守すること。

(4) ユニフォームの色が対戦するチームと同色の場合は、大会プログラムの左側チームを優先とし、右側チームがサブユニフォームに変更する。但し、ゴールキーパー1人の変更で対戦可能な場合は、この限りではない。

(5) 事前に対戦する両チームでユニフォームの色について調整し、メンバーチェックを受けること。

(6) 左側チームがメンバーチェックに遅れてきた場合、右側チームを優先とすることがある。

7. コート規格・試合球

8 (1) コートの長さ（タッチライン）：68m、幅（ゴールライン）：50m

8 (2) ゴールポストの間隔：5m、クロスバーの地面からの高さ：2.15m（少年用ゴール）

※ゴールポストは、転倒及び選手等が負傷しないよう、重石を設置するなど安全に設置すること。

8 (3) ペナルティーエリアの長さ：ゴールライン上から12m、幅：ゴールポスト外側に12mずつ

8 (4) ゴールエリアの長さ：ゴールライン上から4m、幅：ゴールポスト外側に4mずつ

8 (5) センターサークル：半径7mの円

11 (6) センターマーク：センターサークルの中央（ハーフウェーライン上）、直径22cmの円

- 8 (7)ペナルティーマーク：ゴールライン中央から8 mの地点、直径22 cmの円
- 8 (8)ペナルティーアーク：半径7 mの半円弧
- 8 (9)コーナーエリア：半径1 mの四分円
- 8 (10)交代ゾーン：ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6 m（ハーフウェーラインから3 mずつ）
- 8 (11)任意のマーク：コーナーエリアからゴールラインに7 mの地点、及びタッチラインに7 mの地点
- 11 (12)交代ゾーン及び任意のマークは、タッチライン、ゴールラインから外側に5 cm離れた位置から、30 cmの長さとする。
- L11 (13)ラインを引く場合は、幅12 cmとする。
- 8 (14)試合球：4号球（各コート2個ずつ、各チームで用意）

8. 交代

- L8 (1)選手交代の人数制限は設けず、また交代の回数も制限しない。
- 11 (2)交代により退いた選手は交代要員となり、再び出場することができる。（再交代が可。）
- 8 (3)交代して退く選手は、交代ゾーンからコートの外に出る。但し、交代で退く選手が負傷している場合は、主審の承諾を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- 8 (4)交代要員は、交代ゾーンからコートに入り、競技者となる。
- 8 (5)交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。（ゴールキーパーは除く。）
- 8 (6)交代は、主審の承諾を得る必要はない。（ゴールキーパーは除く。）
- 8 (7)ゴールキーパーの交代は、アウトオブプレー時に、主審に通知し、主審の承諾を得て行う。
- 8 (8)交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からコートの外に出る。
- 8 (9)交代で競技者となるゴールキーパーは、ハーフウェーラインのところからコートに入る。
- 8 (10)フィールドプレーヤーとゴールキーパーを交代（入れ替え）させたいときは、アウトオブプレー時に、主審に通知し、主審の承諾を得て行う。但し、それぞれ着用するものについては、次の9項に示すとおりとする。

9. 競技者の用具（ユニフォーム等）

- NY (1)大会実施年度のJFA「サッカー競技規則」第4条（競技者の用具）及びJFA「ユニフォーム規程(2022年2月10日施行)」（以下、「ユニフォーム規程」）に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- 1 (2)ユニフォームに表示しなければならない必須のものは以下のとおりである。
 - ・シャツ：チーム識別標章（前面にチーム名または胸にチームエンブレム、併置可）
 - ・シャツ：選手番号（前面および背面、数字は1から99までの整数）
- 1 (3)ショーツ、ソックスへのチーム識別標章や選手番号等の表示は任意である。
- L1 (4)広告表示は禁止とする。（製造メーカー識別標章は広告と見なさない。）
- 1 (5)シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- 1 (6)シャツの前面と背面の主たる色彩は同じでなければならない。ショーツ及びソックスの前面と背面の色彩も同じでなければならない。
- LY (7)戦術的な理由により、フィールドプレーヤーが交代でゴールキーパーとなる場合は、他の選手や審判と区別された色のシャツ（選手番号は同じ）の着用を可とするが、メンバーチェック時に承認された場合のみとする。なお、本大会（リーグ戦）のみビブスの着用を認める。
- NY (8)ゴールキーパーが交代でフィールドプレーヤーとなる場合は、フィールドプレーヤーと同じユニフォーム（選手番号は同じ）を着用しなければならない。
- L11 (9)アンダーシャツは、各袖の主たる色と同じ色で1色、または各袖と全く同じ色の柄とし、チームで統一すること。但し、白色、または黒色で統一してもよい。
- L11 (10)アンダーショーツ及びタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色とし、チームで統一すること。但し、白色、または黒色で統一してもよい。
- L11 (11)ソックスにテープやその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
- 11 (12)「すね当て」を着用すること。
- (13)取り替え式ポイントシューズ及びアルミポイントシューズの使用を禁止する。
- (14)安全上、選手の眼鏡使用は禁止する。なお、スポーツゴーグルを使用する選手は、エントリー表に記載すること。また、メンバーチェック時に確認するので、持参すること。

(15) チームのキャプテンは左腕にキャプテンマークを着用すること。

- LY** (16) ゴールキーパーが負傷で退く、またはレッドカードで退場になるなど、不測の事態により、メンバーチェックで承認されたゴールキーパー服を着用する選手番号の選手がいない状態となった場合、代わりにゴールキーパーとなる選手が着用するゴールキーパー服の選手番号は異なってもよい。緊急措置としてビブス(番号なし可)による対応も可とする。

10. テクニカルエリア

- L11** (1) テクニカルエリア (ベンチ) に入ることのできる人数は、引率指導者は3人以内、選手(交代要員)は上限を設けないが、過剰に多い人数は控えること。
- 11** (2) その都度、ただ1人の引率指導者のみ、戦略的指示を伝えることができる。
(3) 引率指導者は、有資格者がベンチ入りをすることに心掛けること。
- NY** (4) 傷病により、交代要員として認めることができない選手は、ベンチに入れない。
(5) 交代要員は、試合中の選手と異色のビブスまたは上着を着用すること。
(6) 引率指導者及び交代要員は必ずマスクを着用すること。但し、アップ時は外してよい。

11. 審判員

- (1) 試合の審判は、主審1人と補助審判員(以下、「補助審」)1人の2人で行う。
(2) 「補助審」は、ベンチコントロール、負傷者の対応、ボールの交換の管理、交代手続き等試合が円滑に行われるよう主審を援助するとともに、主審が試合を続行できなくなったときは交代する。
- LY** (3) 審判を3人制で行いたい場合は、主審担当チームで人数を揃え、事前に本部まで申し出ること。また、副審用フラッグは担当チームで用意すること。
- (4) 主審は、事前に審判カードを大会本部に取りに来ること。また、試合終了後は大会本部にて審判報告書を記載すること。
(5) グリーンカード制度を導入する。主審は、フェアプレー精神にあふれた行動やリスペクトある行動を取った選手にグリーンカードを示す。グリーンカードは、試合開始前から試合終了後であっても、またインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、示すことができる。
(6) 主審は、正規の審判服を着用し、胸に資格証を表示すること。
- SY** (7) 「補助審」も、正規の審判服を着用し、胸に資格証を表示すること。但し、天候等により、審判服の上に防寒服等を着用することを認める。また、必ずマスクを着用すること。

12. 試合時間・試合方法

- (1) 試合時間は、全カテゴリーともに30分(前・後半各15分)とし、ハーフタイムは5分とする。得点が多かったチームを勝者とし、同点の場合は引分けとする。延長やPK戦は行わない。
(2) 順位の決定方法は、勝利3点、引分け1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。勝点が同じ場合は、得失点差、総得点数、当該チームの対戦結果の順に順位を決定する。それでも決しない場合で、順位を決める必要がある場合は、大会本部にて決定方法を決め、実施する。
(3) 暑熱下の試合においては、前・後半の中程で飲水タイムを採用する。主審は飲水タイムの有無を前・後半それぞれ開始前に両チームへ通告する。なお、飲水タイムはプレー時間に含める。

13. 警告・退場

- 8** (1) 選手が退場を命じられた場合、そのチームは交代要員の中から、選手を補充することができる。主審は、選手が補充されようとしている間は、試合を停止する。
(2) 本大会において、退場を宣告された選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、「本育成協議会」で決定する。
(3) 審判への侮辱により退場を宣告された選手・指導者等は、違反行為の内容により、「本育成協議会」で処分を決定する。
(4) 警告による罰則は基本的に設けないが、少年や指導者の育成も含み、フェアプレーおよびリスペクトの観点から警告や退場の処分は適切に判断し提示すること。
- NY** (5) 本大会終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は、「本育成協議会」が運営する直近の大会において順次消化する。

14. その他の注意すべき競技規則等

- 8** (1) フリーキックの際、ボールがインプレーになるまで、相手選手はボールから7m以上離れる。

- 8 (2)スローインの際、ボールがインプレーになるまで、相手選手はスローインが行われる地点から2m以上離れる。
- 8 (3)コーナーキックの際、ボールがインプレーになるまで、相手選手はコーナーエリアから7m以上離れる。
- 8 (4)キックオフしたボールが直接相手チームのゴールに入った場合、得点にはならず、相手チームにゴールキックが与えられる。
 - (5)負傷した選手の負傷の程度を確かめるためにコート内に入ることを許される引率指導者の数は、2人以内とする。
 - (6)ハーフタイム時に、次の試合のチームは、原則そのコート内で練習してもよい。
- NY** (7)試合のない時間帯があるコートにおいて、その時間は原則使用不可とする。
- NY** (8)試合に際し、テクニカルエリア（ベンチ）へ行く場合、また試合後にテクニカルエリアから引き上げる場合、コートの内側を通らないこと。
- NY** (9)試合中、コートとコートの間を通行することは、安全上及び試合の妨げになることが想定されるため禁止とする。但し、緊急時等の場合、関係者及び大会役員のみ通行を可とする。
- (10)本部周辺やゴール裏でのアップ等は禁止とする。
- (11)人工芝コート内での飲料は水のみとする。

15. 経費

- (1)大会運営に係る経費については、原則「本育成協議会」が負担する。
- (2)試合会場までの交通費等及び大会参加に必要な経費は参加チームの負担とする。

16. 駐車場・駐車マナー

- (1)城北市民運動公園では、市民野球場の西側に隣接する「北第1駐車場」を使用すること。但し、管理者から別途指示された場合は、その指示に従うこと。
- (2)まめだグラウンドでは、各チームに「上流側」、「下流側」、「Eコート」の駐車場を割り当てているので、順守すること。また、若宮大橋の下は駐車禁止であるため、絶対に駐車しないこと。
- (3)会場周辺での路上駐車は絶対にしないこと。
- (4)車の車内前部に所属チーム名を必ず表示させること。所属チームが不明の場合、駐車場への乗り入れを断ることがある。
- (5)駐車の際はマナーを守り、また駐車場系の指示に従い、他の迷惑にならないように駐車すること。駐車場係や大会役員の指示に従わない場合、駐車場への乗り入れを断ることがある。
- (6)各チーム内で相乗りを実施し、駐車台数の削減に協力すること。

17. その他

- (1)大会中に発生した負傷や疾病は各チームで対応すること。
- (2)安全のため、観戦（撮影）する際には、柵等が無い場合、コートから5m以上離れること。また、傘を差しての観戦（撮影）は、本人も含め周囲に危険が伴うので禁止とする。
- (3)本部周辺やゴール裏、また使用していないコートに入っでの観戦（撮影）は禁止する。
- (4)三脚や脚立等の使用は、周囲の安全が確保できないような場合、禁止とする。
- (5)チームで出したゴミ及びテント（集合場所）近くにあるゴミは必ず持ち帰ること。
- (6)石灰を使用したチームは、袋が空になった際、ゴミとして持ち帰ること。また、他の大会用として置いてある石灰は絶対に使用しないこと。
- (7)タバコは、決められた喫煙場所以外は禁煙とする。特に、選手・子供の前では喫煙しないこと。
- (8)本大会要項等に著しく違反したという事実が認められた場合は、「本育成協議会」で協議の上、該当チームへ出場停止も含め、ペナルティーを科す場合がある。
- (9)本大会の実施に際し、本要項に定めのない事項については、大会本部または「本育成協議会」が最終決定するものとする。
- (10)別紙「新型コロナウイルスの感染予防対策について」をチーム内で周知・遵守すること。

別表① 5項(4) 各コートのベンチ位置及び大会プログラム左側チームのベンチ位置

コート名	ベンチ位置	大会プログラム左側チーム
交流広場Aコート	本部からコートに向かって右側	大会本部側
交流広場Bコート	本部からコートに向かって左側	西駐車場側
まめだグラウンド	本部からコートに向かって左側	犀川側
市民サッカー場A	スタンドからコートに向かって左側	金沢プール側
市民サッカー場B	スタンドからコートに向かって右側	スタンド側

※大会プログラム右側チームのベンチ位置は左側チームの逆側とする

別表② 5項(5) 試合日の第1試合開始までのタイムテーブル

第1試合の開始が9時の場合			
8:00	コートでのアップ可 *まめだG不可		
8:30	第1試合メンバーチェック		
8:40	コートでのアップ終了		
8:45	第1試合コート内練習(5分間)		
9:00	第1試合キックオフ		
//	第2試合メンバーチェック		

※8時からアップを行うチームは、コート設営の作業の妨げとならないよう注意すること
 ※まめだGでは、Dコートの横のスペースか、当日使用しないコートでアップすること